

Q 1

DPT ワクチンの接種対象年齢について教えてください。

A

DPT ワクチンは、小児に対する定期接種ワクチンとして用いられています。1期の初回接種は20日から56日までの間隔（いわゆる3～8週間間隔：参照p3）をおいて3回接種します（参照p34、3.予防接種スケジュールの項）。接種対象年齢は生後3～90カ月（7歳半）までとなっていますが、標準的に生後3～12カ月となっています。1期の追加接種は初回接種終了後6カ月以上の間隔があればよいことになっていますが、標準的には、初回接種3回終了後12～18カ月です。通常、2期は11歳ないし12歳で行われ、DTトキソイドが用いられます。平成19年（2007）からの年長児を中心とした百日咳の流行で、専門家を中心に、平成20年（2008）から2期のDTトキソイドをDPTワクチンに変更する検討が始まっています。

区 分	対象者	標準的な接種期間	回 数	間 隔
1期初回（DPT）	生後3月から生後90月に至るまでの間にある者	生後3月に達した時から生後12月に達するまでの期間	3回	20日から56日まで （いわゆる3～8週間：参照p3）
1期初回（DT）			2回	
1期追加（DPT）	生後3月から生後90月に至るまでの間にある者（1期初回接種（3回）終了後、6月以上の間隔をおく）	1期初回接種（3回）終了後12月に達した時から18月に達するまでの期間	1回	
2期（DT）	11歳以上13歳未満の者	11歳に達した時から12歳に至るまでの期間	1回	